

# 2019年「**超**モノづくり部品大賞」候補申請書の書き方

(申請書式はモノづくり日本会議ホームページ<<https://award.cho-monodzukuri.jp>>からダウンロードできます)

**超**モノづくり部品大賞にご応募いただく際には下記の要項で候補申請書を提出してください。

- 申請書はできる限りマイクロソフトWORDで作成し、電子メール等でご送付ください。  
それ以外のフォーマットを使う場合にはテキストファイルでお送りください。
- 本申請者はA4判で記述いただき、下記の記入項目の1から4について、5ページ程度に収めてください。
- 応募部品の写真を必ず添付してください。
- 部品内容を説明する写真や図表、カタログ、技術資料、新聞記事などがあれば併せて提出ください。
- 申請書の送付先 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14番1号 (日刊工業新聞社内)

モノづくり日本会議 **超**モノづくり部品大賞事務局  
e-mail:buhin@media.nikkan.co.jp

## 【記入項目について】

- 1. 部品の内容および特徴** 必ず、どんな完成品のどの部分に使われ、どのような機能を発揮するかを分かりやすく記載してください。また、従来品や従来技術などと比べて優れた点や際立っている点などの特徴を具体的に記してください。広く外販するのか、自社製品への適用のみなのかなども記述願います。
- 2. 審査は次の5項目を中心に行います。いずれも、定量的に記述してください。自社、他社の既存・類似部品があれば、それとの比較も踏まえ記述願います。**
  - (1) 技術の独創性** 当該部品に関する技術の画期的な点。
  - (2) 性能** 当該部品の有する機能や能力。当該部品を組み込むことで、これまでにない完成品の実現や完成品の性能を飛躍的に高めた点、従来製品や他社製品との比較など。
  - (3) 経済性** 当該部品の価格、維持管理に必要な経費など総合的かつ長期的にみた経済性。同時に当該部品を組み込むことにより、完成品の価格、維持管理に必要な経費について、総合的かつ長期的にみた経済性の改善効果など。
  - (4) 実績と今後の普及見通し** 受注・販売の実績、シェアなど。また海外からの技術提携の要請や輸出比率などの外国での評価もあれば記述してください。主な受注・販売先はできる限り書いてください。支障がある場合はA社、B社と記述してください。
  - (5) 環境および安全性への配慮** 当該部品の製造時における環境負荷低減や、組み込まれた完成品の環境負荷低減に関する当該部品の貢献など。また同様に安全面での配慮なども記述してください。  
※「環境・資源・エネルギー関連」分野については、(1)、(2)を環境面に焦点を当てて審査します。従って、(5)に関しては安全性を中心とします。
- 3. その他** 新聞記事の掲載実績や公的助成制度の採択など、特記すべき内容があれば記述してください。
- 4. 特許関係件数**
- 5. 推薦と評価** 原則添付してください(推薦や評価が無くても応募は受け付けます)

※ご応募いただきました申請書、写真、資料などは返却致しません。

※申請書の書き方について不明な点、また上記の記入項目ではその性能等を記述しづらい場合は事務局までお問い合わせください。

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14番1号 (日刊工業新聞社内)

モノづくり日本会議 **超**モノづくり部品大賞事務局

TEL 03-5644-7608 FAX 03-5644-7209

# 2019年「超モノづくり部品大賞」候補申請書

フリガナ (数字やアルファベットにもフリガナをふってください)	
部 品 名	
完成年月日	販売年月日
製作会社名	
会社代表者の氏名・役職	
本社所在地 〒	
設立年月日	資本金
年 月 日	円
売 上 高	従業員数
円 ( 年 月期)	人

## 連絡担当者

氏名・役職	部署
住所	
TEL	FAX
メールアドレス	
応募について ●日刊工業新聞を見て ●HPを見て ●募集の案内書を見て ●その他 ( ) ※いずれかに○をつけ、その他には ( ) 内に記入してください。	

## 1. 部品の内容および特徴

## 2. 評価項目

(1) 技術の独創性

(2) 性能

(3) 経済性

(4) 実績と今後の普及見通し

(5) 環境および安全性への配慮

## 3. その他

## 4. 特許関係件数

## 5. 推薦と評価